

万博記念公園春の渡り鳥調査結果 (2025 年度)

大阪府日本万国博覧会記念公園事務所

製作：吹田野鳥の会

調査期間 2025 年 4 月 15 日～5 月 5 日

調査目的 渡り鳥が好む環境を知り、鳥が利用する環境を創生するための
植生管理の基礎資料とする

調査対象 ①ヒタキの仲間(ヒタキ科・ツグミ科・ムシクイ科などの鳥)

②スズメ科ニュウナイスズメなどの山野の鳥、コチドリなどの水辺の鳥

調査方法 園内を一巡し、渡り鳥を観察した数および場所を地図上にプロット

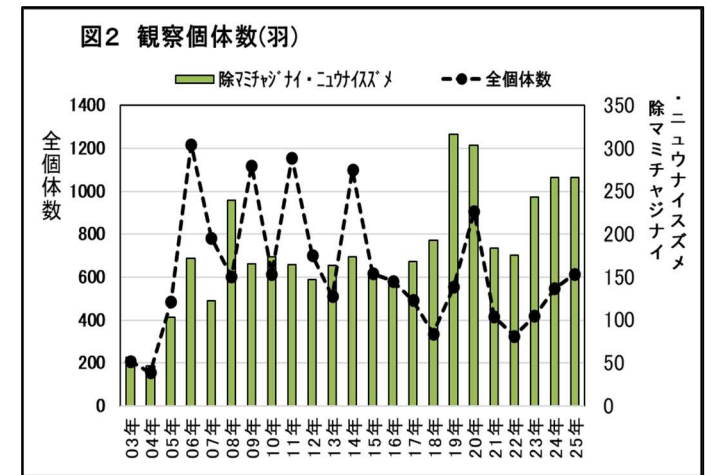
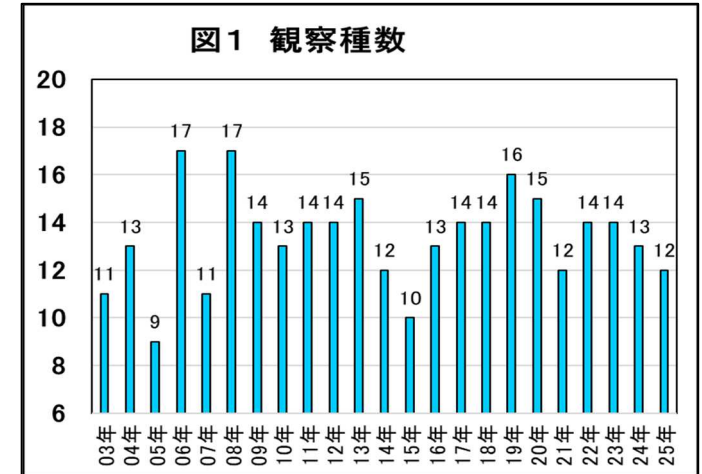
備 考 日本鳥類目録8版(2024 年)に準拠

別表1～4の種名順は第8版ベースにするとともに、第7版の種 No を併記した

1. 春の渡り鳥全般の状況（図1～2、別表1～4、別図①～⑤）

1) 観察した種類と個体数

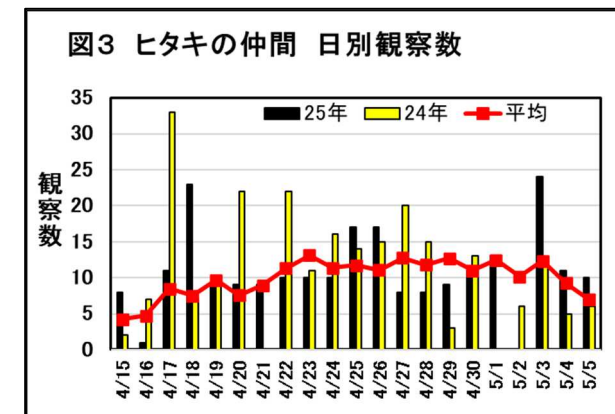
- ・2025 年の渡り鳥の観察種数は 12 種と昨年より 1 種減、これまでの平均観察種 13 種より 1 種少ない低レベルとなった。
- ・個体数は 615 羽と昨年の 548 羽より 67 羽増えたものの、最近では多かった 2020 年 906 羽に比べると 3 割減で、23 年間の平均 629 羽を下回った。変動の大きいニューナイスズメ(及びマミチャジナイ)を除いた個体数では昨年と同数の 266 羽となり、2019 年 317 羽、2020 年 304 羽に続く第 3 位、23 年間の平均 180 羽を大きく上回った。
- ・チドリ科のコチドリは 29 羽と過去最高を記録し、昨年の 6 羽、平均 7 羽を大幅に上回った。
- ・サンショウクイ科サンショウクイは昨年 24 羽と過去最高を記録したが、今年は 9 羽にとどまった。しかし、23 年間に観察できなかった年が 7 年もあり、平均 5 羽を上回った。
- ・ウグイス科ヤブサメは昨年 4 羽から今年 2 羽となった。観察できなかった年が 23 年中の 16 年もある種なので、観察できたことを喜びたい。
- ・ムシクイ科エゾムシクイは昨年 20 羽と過去最高を記録したが、今年は 11 羽と半減した。
- ・ムシクイ科センダイムシクイは昨年 21 羽から 30 羽と 40% 増となり、年平均 28 羽を上回った。
- ・昨年観察できなかったヨシキリ科オオヨシキリは 5 羽、2020 年と並んで過去最高となった。
- ・ツグミ科クロツグミは昨年 1 羽が今年 4 羽確認したが、昨年 3 羽のマミチャジナイは確認できなかった。
- ・ツグミ科アカハラは昨年 48 羽が今年 66 羽と過去 5 番目の記録、30% 増となった。
- ・ヒタキ科コサメビタキは昨年 10 羽から今年 17 羽と、過去 2 番目の記録となった。
- ・ヒタキ科オオルリは昨年 11 羽から、今年 7 羽、年平均 16 羽に対しても低レベルにある。
- ・ヒタキ科キビタキは昨年 120 羽と過去 2 番目の記録から、今年は 86 羽にとどまったが、年平均 62 羽を上回っている。
- ・スズメ科ニューナイスズメは 349 羽と昨年 279 羽に比し 25% 増となったが、年平均 435 羽より低レベルで、2009 年、2011 年、2014 年の 900 羽台には遠く及ばない。
- ・ホオジロ科クロジは 10 羽確認したが、大阪支部鳥類目録で冬鳥となっている上、万博公園でも冬に観察されていることがわかったので、今年から春の渡り鳥より外すことにし、過去のデータも修正した。
- ・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、シギ科、キツツキ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は観察できなかった。



2. ヒタキの仲間の状況(図3~12、別表1~4、別図①~⑤)

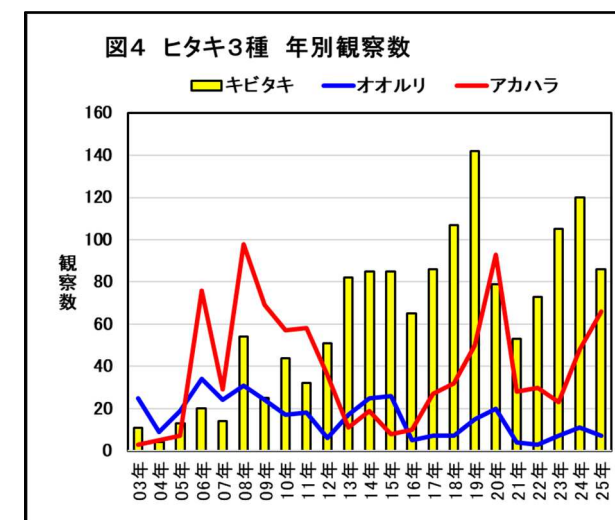
1) ヒタキの仲間(ウグイス科・ムシクイ科・ヨシキリ科・ツグミ科・ヒタキ科)の状況

- ・春の渡り鳥のメイン種であるキビタキ・アカハラ・センダイムシクイを中心とするヒタキの仲間(ヒタキ科、ムシクイ科、ウグイス科)の観察数は 238 羽となり、昨年 225 羽に比し若干増加した。
- ・図3に昨年、今年と、23 年間平均の日別の観察数を示した。昨年は 4/17(33 羽)のピークが高かったが、今年は 4/18 に 23 羽、5/3 に 24 羽の2ピークと後半の多さで、盛り返した。



2) キビタキ、オオルリ、アカハラの年別観察数

- ・ヒタキの仲間で主要 3 種についての年別観察数を図4に示した。
- ・キビタキはこの調査が始まって以来増加傾向が続いており、2019 年には 142 羽と過去最高を記録していた。その後の落ち込みからも回復し、昨年 120 羽となったが、今年は 30%減の 86 羽にとどまり、ほぼ 10 年前のレベルに戻った。
- ・万博公園の森の変化が、薄暗い樹林を好むキビタキ増加につながってきたと思われるが、今年のキビタキ減少が、現在の緑整備部会による森づくり計画「目標林型の落葉樹林化」の影響があるかどうか、来年以降の推移を見守りたい。
- ・オオルリは調査開始初年 2003 年に 25 羽とキビタキ 11 羽を上回っており、2006 年には 34 羽と最大数を記録していた。2008 年にも 31 羽記録したが、同年 54 羽に増加したキビタキに越され、その後はオオルリ減少傾向、キビタキ増加傾向が続き、オオルリがキビタキを上回ることがない低レベルで推移している。2020 年に 20 羽に回復したので期待していたが、その後もキビタキの 1/10 レベルにとどまっており、2025 年もキビタキ減に合わせるかのように 7 羽にとどまった。
- ・オオルリはキビタキと異なり、明るい林を好んでいると思われるので、「森づくり計画の進展」による好影響を期待したい。
- ・アカハラは年により変動があり、2008 年に最大 98 羽を記録した。翌年以降減少傾向が続き 2015 年に 8 羽と最低を記録したが、徐々に増加し 2020 年は 93 羽と過去2番目を記録した。2021 年~2023 年は 30 羽以下であったが、今年は 66 羽と過去 5 番目の記録となった。



3)ヒタキ科 キビタキの観察数



写真1 キビタキ

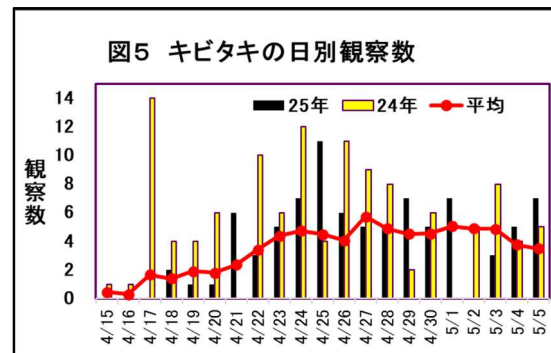


写真2 オオルリ



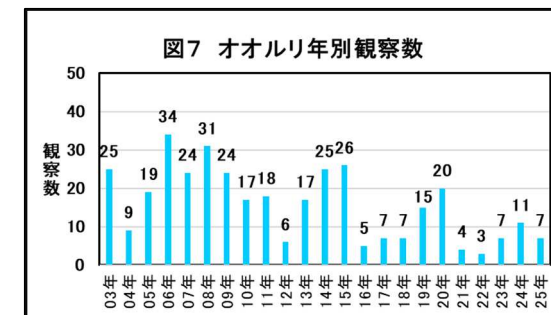
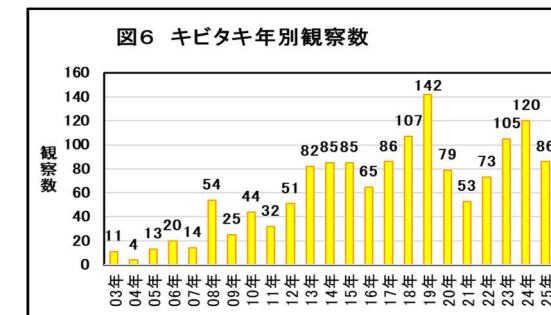
写真3 コサメビタキ

- ・キビタキの昨年と今年、及び 2003～2025 年平均の日別観察数を図5に示す。上述の通り今年は昨年比 30%減となったが、調査期間を通じて昨年より低レベルであった。
- ・図6にキビタキの年別観察数を示した。今年のトータル 86 羽は過去5番目であり、平均を上回っている。
- ・万博公園でキビタキの繁殖(幼鳥を確認)したのは、2014 年であるが、春の渡り時の確認数が増加した時期と一致している。



4)ヒタキ科 オオルリの観察数

- ・オオルリは 2020 年に 20 羽となり回復したかに思われたが、その後は低レベルが続き、2024 年 11 羽、2025 年は 7 羽にとどまっていた。
- ・図6キビタキ、図7オオルリの観察数からわかるように、調査をスタート直後の 2003～2007 年はオオルリの方がキビタキより多かった。しかしその後キビタキが増加したのに対し、オオルリは減少し、一桁台が多い。
- ・春の渡り時に都市公園を通過する鳥として、また大阪近郊の山地に繁殖する鳥として、「オオルリ」「キビタキ」と並び称される2種であるが、万博公園に暗い林が多くなり、オオルリの好む場所が無いようである。森づくりとして落葉樹林を増やす計画が進められているので、今後のオオルリの状況に注目したい。



5)ヒタキ科 コサメビタキの観察数

- ・図8で確認されるように、2021 年に過去最高 21 羽を記録した後、23 年 17 羽、今 2025 年も 17 羽と、観察数が増加している。
- ・そのこともあってか、一昨年・昨年と春の渡り鳥調査後に、園内でコサメビタキの繁殖が確認されている。
- ・今年も繁殖子育てが期待できるので、早朝調査を終えた後も、繁殖の有無を確認したい。

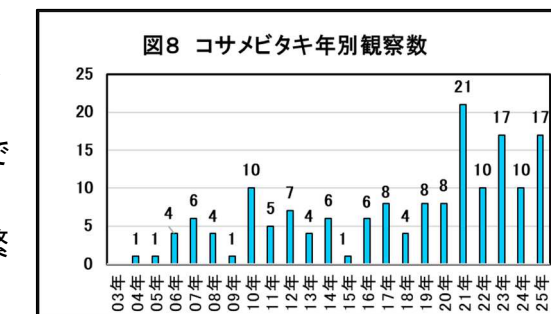
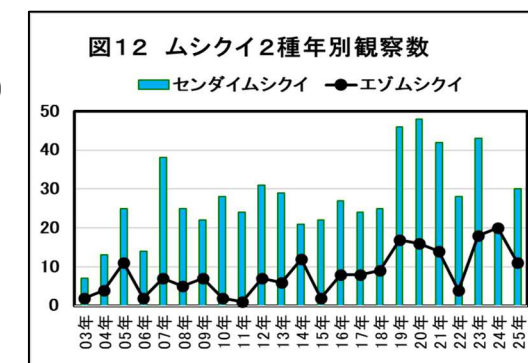
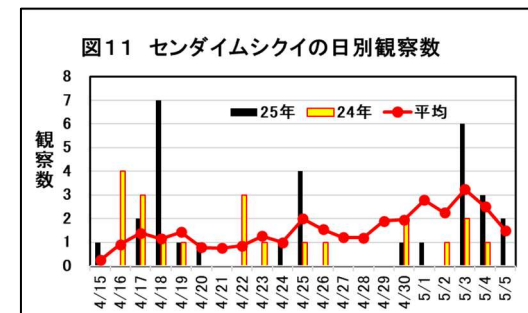
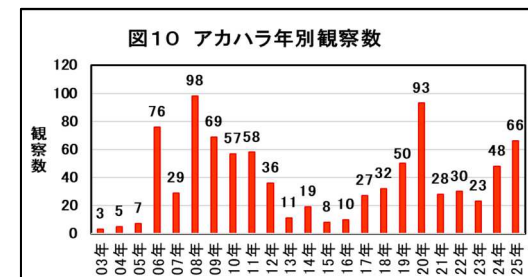
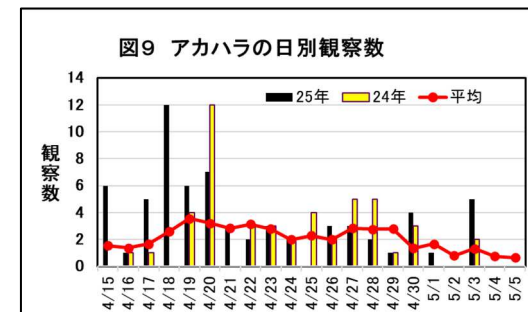




写真4 アカハラ

6) ツグミ科アカハラ、クロツグミ

- ・図9にアカハラの日別推移を示したが、今年は4/18に12羽、後半5/3に5羽のピークがあり、トータル66羽確認した。
- ・図10には23年間の推移を示した。2020年93羽の第2ピークがあり、その後減っていたが今年は66羽に回復した。
- ・クロツグミは2019年に11羽観察したものの、2020年～2024年は1～2羽と低レベルが続いていたが2025年は4羽確認した。23年間の観察数が43羽、この間に観察できなかった年が7年もある希な種、今年は過去3番目となる4羽を記録した。
- ・マミチャジナイは2006年に282羽のピークがあり、その後



2012年40羽確認したものの、あとは1～6羽単発的に観察されている鳥、昨2024年3羽を確認したが、今年は観察できなかった。

- ・2023年に観察できたヒタキ科のコマドリ・コルリ・ノビタキは、昨年に続き今年も観察できなかった。

7) ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ

- ・センダイムシクイは2023年43羽に対し2024年21羽と半減したが、今年は30羽に回復、これまでの23年間の平均を上回った。
- ・図11でセンダイムシクイの日別推移を見ると、今年は5/3に6羽のピークがあったことによる。
- ・一方エゾムシクイも5/3に6羽観察できたものの、観察できた日が4日と少なく、2024年20羽が今年は11羽と半減した。
- ・両種の増減が反対になったが、理由は分からない。

8) ヨシキリ科・ウグイス科

- ・ヨシキリ科オオヨシキリは2023年・2024年と2年間0羽のブランクがあったが、今年は過去最高の2020年と同数、5羽観察できた。
- ・ウグイス科ヤブサメは2羽(昨年4羽)観察できた。

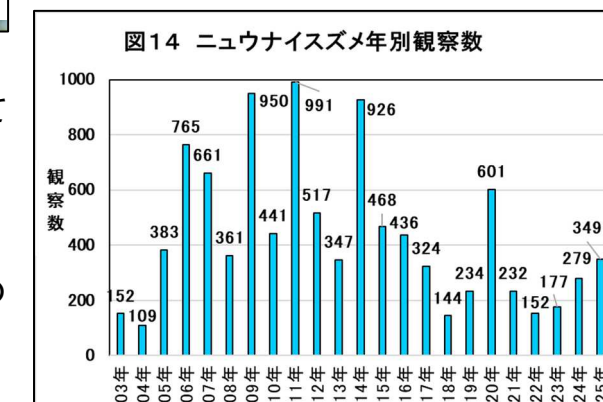
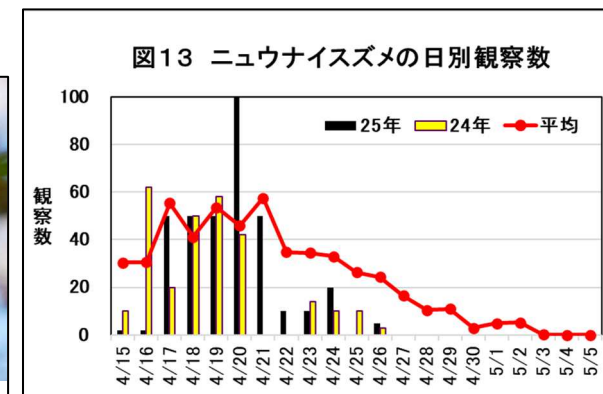
3. その他の渡り鳥(図 13~16、別表1~4、別図①~⑤)

1) スズメ科ニューナイスズメ

- ・ニューナイスズメの渡りは例年 4 月 20 日前後にピークがあるが、今年も 4/17~4/21 に 50 羽~100 羽の群を観察した。
- ・4/21 の観察数を 100 羽とした。実際に目視できたのが 11 羽であったが、群で動いている範囲が目視できた範囲の 10 倍以上の広さがあったことによる推定値である。個体数が多いにもかかわらず動きが早く、実数は把握しにくい種なので、推定値としている。
- ・2025 年度はトータル 349 羽となり、昨年 279 羽比+70 羽となったが、過去には 1000 羽近く観察していたことから、23 年間の平均 435 羽には届かなかった。
- ・ニューナイスズメはソメイヨシノの花、そしてアベマキの中にいて、トータル数が多く、2009 年 950 羽、2011 年 991 羽、2014 年 926 羽をカウントしていた。
- ・最近では季節変化、植物の春(ソメイヨシノの開花)が早くなった影響もあり、遅咲きのアベマキの花の中で 10~20 羽程度の小群での観察が多い。



写真5 ニュウナイスズメ (2025/4/12)

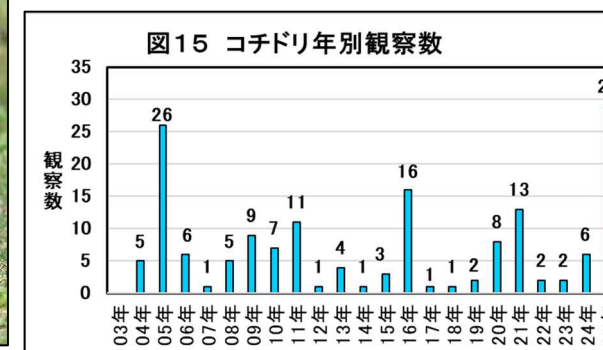


2) チドリ科コチドリ

- ・チドリ科コチドリは昨年 6 羽であったが、今年は 29 羽と過去最高を記録し、4/15~5/5(雨天中止日を除く)20 日間のうち 15 日観察できた。
- ・観察場所は水すましの池上流が主であるが、自然文化園内の広場(上の広場・下の広場・チューリップの花園西側など)が行事に利用されていない時間に休んでいた。

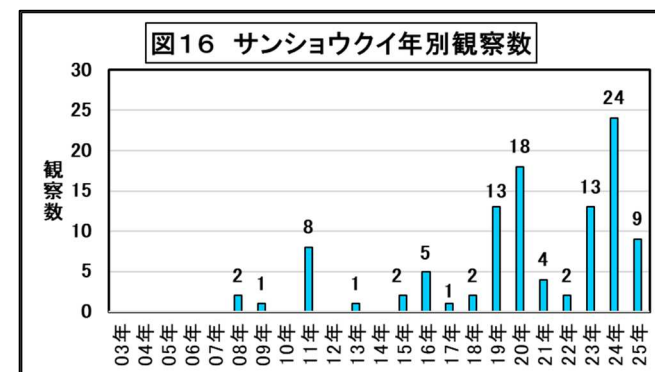


写真6 コチドリ



3) サンショウクイ科サンショウクイなど

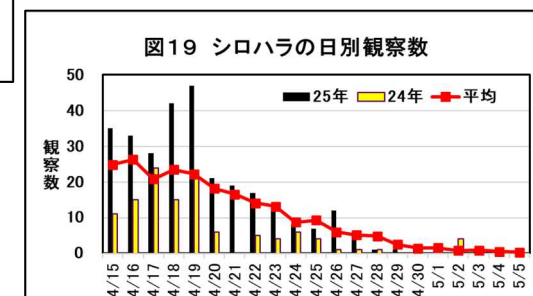
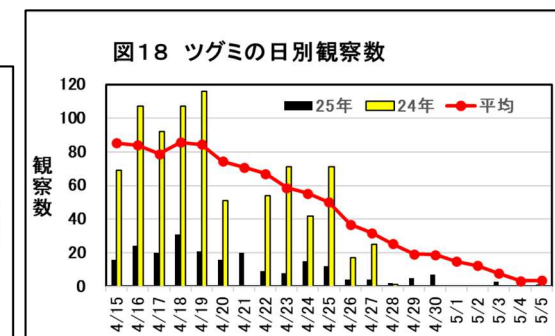
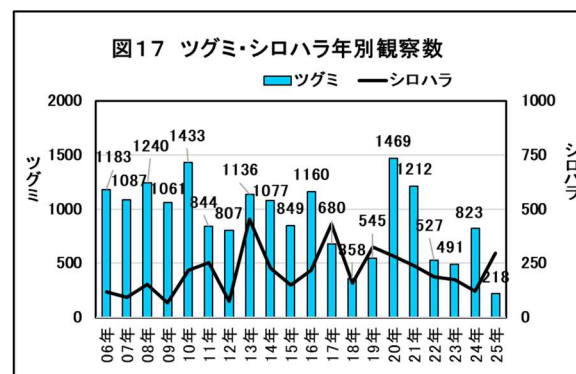
- ・サンショウクイ科サンショウクイは昨年の 24 羽のようにまとまっていなかったが、過去 5 番目の 9 羽を確認した。4/21 の 4 羽の内 2 羽は中央口すぐのサクラで観察、園内の広場周辺の街路樹や、常緑樹林中など、各所で点々と観察された。
- ・クロジは初日 4/15 に 6 羽を野鳥の森で観察するなど、トータル 10 羽観察したが、大阪支部鳥類目録で冬鳥に区分されており、万博公園でも冬鳥として観察したことがあることから、春の渡り鳥から外すことにした。
- ・尚、上述のニューナイスズメも大阪府鳥類目録では冬鳥となっているが、万博公園では冬の観察は無く、春の渡り時(4 月中旬～下旬)にのみ確認されていることもあり、そのまま春の渡り鳥として残している。
- ・昨年観察できたカササギヒタキ科サンコウチョウは、観察できなかった。
- ・また、サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、シギ科、キツツキ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は今年も観察できなかった。



4. 冬鳥・留鳥ほか(図 17～19、表 1 別表3～4)

1)ヒタキ科ツグミ、シロハラ

- ・2006 年よりツグミ・シロハラなど冬鳥についてもカウントを実施している。
当初ツグミは 1000 羽を超える年が多く、2020 年は 1469 羽と過去最高を記録するも、2022 年、2023 年が 500 羽前後、昨 2024 年は 823 羽に回復したものの今年は 218 羽と過去 20 年間で最低を記録した。
- ・今年の冬のツグミの生息数が何処でも少なかった。例年冬に少なくとも、万博公園の春の渡り調査では盛り返す年が多かったが、今年は少ないまま終わった。
- ・一方シロハラは 296 羽で、2013 年 454 羽、2017 年 433 羽に続く過去 20 年間で 3 番目の記録となった。
しかもツグミが過去最低となったこともあって、初めてツグミを上回る個体数を確認した。
- ・図 18 にツグミの昨年・今年の日別推移と、これまでの平均観察数と比較して示した。昨年に比べ激減していること、しかも平均に比べ渡去が早く、5 月にほとんどいなかったことがわかる。
- ・図 19 のシロハラについては、昨年・平均に比べ調査前半の観察数が増えている。



- ・長年万博探鳥会のリーダーをしてくださっていた故塩田猛氏は、「野鳥図鑑に載っているツグミ・シロハラの繁殖地図を見ながら、ツグミの繁殖範囲は広いが、シロハラの繁殖範囲は狭いので、何時絶滅するかわからない」と言われていた。
- ・今年の調査でツグミが減って、シロハラが増えている理由は、全く不明であり、今後両種の生息数がどのように変化するか、見守りたい。



写真7 ツグミ



写真8 シロハラ

2) カイツブリ科カンムリカイツブリ

- ・カイツブリ科カンムリカイツブリ 1羽が 4/22～5/1 の 10 日間夢の池で観察できた。
- ・今年は 2/25～3/8 まで大地の池→夢の池で越冬するのを、初めて観察していた。冬はボートを利用する人がほとんど無いので、夢の池に住めるのだろうと思っていたが、今回違うと思われる個体が春の渡り時観察でき、しかもボートで近づく人がいても、園外に逃げないことがわかった。夢の池のボートが多数利用されている時間に、ボートの動きにカンムリカイツブリがどう対応しているか確認した結果を以下に示す。
- ・4/29 12 時 30 分～13 時 10 分ごろのカンムリカイツブリの状況

「夢の池」ではボート 20 隻以上が乗船利用されており、縦横に動いていた。カンムリカイツブリは、そのボートの間を自由に動き回っており、ボートが近づいて危険と思った時は、ずっと潜水し移動していた。潜水時間を測ったところ短くて 30 秒間、長い時は 40 秒間以上潜水していて、どこに浮上するか、すぐにはわからなかった。

「夢の池」の北側に、今は使用されていない散水塔（東側黒色、西側赤色）が建っているが、両方の距離は約 50m である。この散水塔間に相当する距離を潜水・移動して浮上するので、浮上場所を見つけるのが非常に難しかった。しかもカンムリカイツブリが移動している場所が、北側のボートの少ない所だけでなく、南側の乗船場所に近づくこともあった。

カンムリカイツブリが冬鳥として良く観察できる枚方市の枚方淀川探鳥会、カンムリカイツブリが人のいる所から離れた淀川本流中央より遠くにいたので、「人見知りをする繊細な鳥」と思っていた。ところが「夢の池」のカンムリカイツブリはボートの近づいてもすぐには逃げないので、人慣れする個体もいることがわかった。

このカンムリカイツブリ 4/22～5/1 の間観察され、5/2 雨天中止後の 5/3 にはいなくなっていた。



写真9 カンムリカイツブリ



写真10

3)アトリ科マヒワ・アトリ・シメ、ホオジロ科アオジ、セキレイ科ビンズイ

表 1 冬の小鳥 5 種

科名	種名	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	計	年平均
	マヒワ	0	1964	0	726	0	2	72	0	0	0	0	544	0	0	0	0	3308	207
アトリ	アトリ	286	11	0	39	23	113	109	55	387	20	375	38	202	84	2	34	1778	111
	シメ	206	440	0	123	70	3	123	55	23	226	204	10	73	23	199	0	1778	111
ホオジロ	アオジ	81	36	51	52	84	38	64	52	45	72	124	30	51	35	69	70	954	60
セキレイ	ビンズイ	17	7	3	3	8	4	1	11	2	5	8	9	18	3	4	9	112	7

冬鳥として観察できる上記 5 種を 2010 年からカウントしている。

・アトリ科の 3 種はいずれも、越冬数の変動が多い鳥である。

中でもマヒワは 2011 年に 1964 羽もカウントしたが、観察できない年が多く、2022 年以降 0 羽、今年も観察できなかった。

・アトリはこれまで最大 400 羽～0 羽の間で変動している。昨年は日本庭園で 4/17 に 2 羽確認できたのみであったが、今年は 4/15～4/25 の間にトータル 34 羽、1～10 羽(4/20 の 10 羽が最大)が、観察の森のハルニレを中心に観察された。

・シメは昨年 3 年ぶりに大幅増の 199 羽であったが、今年は 1 羽も観察できず、この 16 年間で 2 回目の 0 羽となった。

・アオジは、ホオジロ科で唯一毎冬観察できる鳥である。今年は初日 4/15 に 12 羽観察し、5/3 まででトータル 70 羽、16 年間では 5 番目と多かった。万博探鳥会を開始した 1985 年頃、植えられた木が小さく、園内が草地状態にあったため、草の実を主食にしているホオジロ科の鳥が多く、ホオジロが園内で繁殖し留鳥、冬鳥のカシラダカ・ミヤマホオジロも良く観察できた。しかし今は、ホオジロ科ではアオジのみ、ホオジロさえも観察できなくなっている。

・セキレイ科ビンズイは 4/16 に花の丘入口で 4 羽観察されるなどから、トータル 9 羽観察できた。ビンズイは明るい松林が好きな鳥、以前は日だまりの池西側にあった松林で観察できたが、今はその松林が無くなったこともあり、探鳥会での観察も少なくなっている。

・表にはないが、ホオジロ科クロジは上述のように渡り鳥から冬鳥に変更した。2025 年は初日 4/15 に 6 羽確認したこともあり、トータル 10 羽観察した。これまで 2015 年 3 羽、2018 年 2 羽観察しており、今後は冬鳥として経緯を見ていきたい。

・留鳥のイカル、以前は万博公園で繁殖しており一年を通じて観察できたが、最近は冬鳥としての観察が多くなっている。昨年の渡り鳥調査で 7 日間のみ観察であったが、今年はもみじ川沿いや生産の森のハルニレなどで調査日のすべての日に観察することができた。



写真 11 クロジ



写真 12 イカル

4)ハト科、ハヤブサ科、ツバメ科、チメドリ科、サギ科など

- ・ハト科のアオバトは期間中に 4 回観察した。
- ・留鳥のハヤブサ科チョウゲンボウが 5 回観察できた。万博公園定例探鳥会などで、太陽の塔の避雷針に止まっている姿を良く観察できるようになったこと、EXPO70 パビリオン(旧鉄鋼館)付近で良く飛んでいることから、園内で営巣していないか探すも確認できていない。万博公園の周囲のどこかに営巣していて、園内を餌場にしている可能性が高い。
- ・夏鳥のツバメ科ツバメやコシアカツバメが園内の上空を飛びまわっているのを観察されるが、万博公園の森づくりの影響を受けていないこともあり、春の渡り鳥としては記録していない。
しかし今年 4/29、コシアカツバメが日本庭園・深山の泉上空を飛ぶ 50 羽近い群を観察した。コシアカツバメは高速道路やモノレールなどの橋桁などにコロニー(集団営巣)するが、吹田市にコシアカツバメの巣がないことから、近くの茨木市 or 箕面市にコシアカツバメの営巣地があると思われる。
- ・特定外来種に指定されているチメドリ科ソウシチョウ、これまで冬鳥として何回か万博公園で観察されていたが、早朝調査では初めて 3 回観察できた。大阪府をぐるり取り巻く山地では繁殖していて留鳥となっているが、万博公園で定住し、繁殖するようになるかどうかわからない。
- ・サギ科の鳥では、ダイサギ(2024 年 10 日→2025 年 1 日)、コサギ(2024 年 19 日→2025 年 11 日)と観察日数が減少した。もみじの滝～水の広場への水流が工事の関係で止まっていたので、流域の水生昆虫などが減少したことなどが一因かと思われる。



写真 13 ソウシチョウ

5)ハシブトガラスによる「アベマキの枝落とし」、今年は観察できなかった

- ・大阪市立自然史博物館の和田岳学芸員により名づけられた「カラスの枝落とし」行動は、万博公園でエドヒガン・オオシマザクラ(5・6 月)・ヤマモモ(6・7 月)・エノキ(7・8 月)・コブシ(9 月)・ナンキンハゼ(10・11 月)・クスノキ(11・12 月)など、春～初冬まで季節ごとに異なる液果で観察していた。
- ・「カラスの枝落とし」とは、主としてハシブトガラスが木の実(液果)を食べるときにおきている。
 - ①実のなる枝を嘴で引っ張る、②枝の弱い所で折れる、③嘴に咥えた枝が重く地上に落とす、④木の根元に実のついた小枝が散乱する
- ・20 年ほど前から観察されてきたが、枝落としをする樹種(液果)が広がっていた。
- ・2023 年早朝調査時(5/3)、日本庭園東側のアベマキで液果でもないのにカラスの枝落としが観察され、翌 2024 年も同時期に観察できた。液果ではないので目的は木の実以外、例えば葉についている昆虫(イモムシなど)かな? との推定をしていた。
- ・しかし、今年 2025 年は、枝落としが見られず、「アベマキの枝落とし」の理由はわからないまま終わった。



写真 14 カラスのアベマキ枝落とし
(2024/5/3)

5. トータル観察種 (図 20~21、別表-3、4)

- ・今年調査期間中に観察したトータルの種数は 53 種で昨年と同種数であるが、これまで 23 年間の平均レベル 54 種より低くなった。
- ・今年の日別観察種数は平均 33.2 種で、過去最高 2020 年 35.0 種、21 年 33.4 種に次ぐ第 3 位の記録、図 21 で見られる通り平均 (赤折れ線) を上回っている日が多いことからわかる。
- ・全種の一覧表を別表 3、4 に示した。

- ・今年は調査した 19 日間とも観察できた種は 17 種で、昨年と同種であった。

カルガモ、キジバト、カイツブリ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツバメ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、イカル、カワラヒワ

- ・昨年全日観察できて今年観察できなかったのはカワウ、コサギ、キビタキの 3 種、逆に昨年全日観察できなくて今年全日観察できた鳥はコゲラ、ヤマガラ、イカルの 3 種であった。

- ・今年はイカルが全観察日に観察できたが、ハルニレでよく観察できた。

- ・逆に昨年全観察日に確認できた春の渡り鳥キビタキが 17 日間しか確認できなかったが、調査前の 4/12 定例探鳥会、そして渡り鳥調査に入って初期 4/15~4/17 に観察できなかったことから、渡りが遅かったのかもしれない。

- ・今年の調査種数は 53 種と昨年と同種数にとどまった。昨年観察できなかった鳥で今年観察できた種はオオバン、カンムリカイツブリ、トビ、オオヨシキリ、ジョウビタキ、クロジ、ソウシチョウの 7 種、逆に昨年観察できたが今年観察できなかった種は、ヨシガモ、マガモ、サンコウチョウ、イワツバメ、マミチャジナイ、セグロセキレイ、シメの 7 種であった。

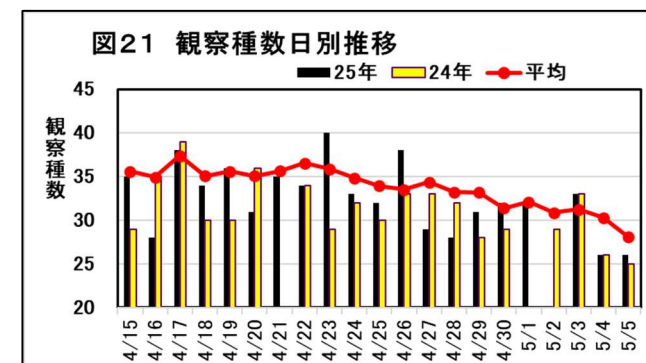
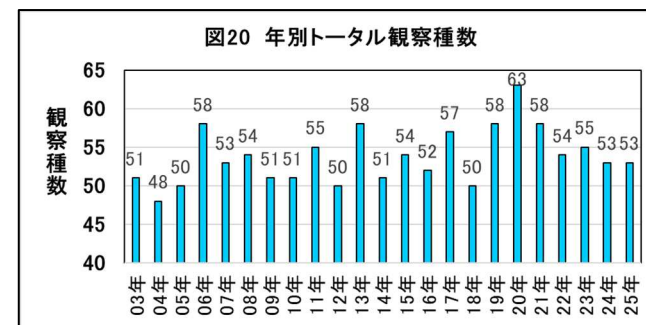
- ・一昨年 7 日観察できたオオタカが、昨年に続き今年も観察できなかったことは、今年もオオタカの繁殖が無かったこと示している。

- ・この 23 年間の調査期間 (4/15~5/5) に初めて観察できた種はカンムリカイツブリ、ソウシチョウの 2 種もあった。

- ・別表 4 より 2003 年~2025 の 23 年間、延べ 458 日間調査しているが、調査期間のすべての日に観察した種はハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラの 3 種であった。

スズメの観察日は 457 日間となっているが、初年度 2003 年に観察してない日が 1 日あったことによるが、何故かわからない。

- ・一方で、23 年間の調査日 458 日に 1 日のみしか観察していない種として、キジ (2012 年)、オカヨシガモ (2022 年)、クイナ (2014 年)、ムナグロ (2006 年)、ダイゼン (2010 年)、クサシギ (2006 年)、ユリカモメ (2003 年)、チュウサギ (2012 年)、サシバ (2015 年)、ノスリ (2023 年)、ウソ (2013 年)、ホオアカ (2013 年) の 12 種記録されている。



- ・キジは万博公園で定例探鳥会を開始した 1985 年頃、「ケーン・ケーン」と鳴く声を一日に 50 回も聞いたことがあるほど多かった。また樹木銘板にキジが描かれるなど、万博公園のシンボル鳥となっていた。しかし探鳥会では 1998 年 4 月が最後、早朝調査でも 2012 年 4 月 19 日に 1 回確認したのみで、その後キジの姿を見ていない。
- ・万博公園の木々が小さいとき、園内一円が草はら状態でキジの天国であったが、木々が大きくなるとともに草はらが無くなり、キジも徐々に少なくなり、ついにはなくなったものである。
- ・チュウサギ、ムナグロ、ダイゼンは夏鳥であるが、休憩できる水辺がないため東の広場などに一時的に休んでいるところを確認されたものである。しかし、最近は早朝調査期に東の広場などで、大型行事が開催されることが多くなっているため、鳥たちの休む所がなく観察機会が無くなっている。
- ・サシバは早朝調査時期が繁殖地へ向けての移動の季節なので、上空を通過する個体の観察を期待したい。
- ・オカヨシガモは冬鳥として観察できる鳥なので、春の渡り調査時まで残ることがあれば、記録されると思われる。
- ・ホオアカは 2013 年に東の広場で観察した。毎月定例開催している万博公園探鳥会でも観察したことがなく、またその後の早朝調査でも観察していないので、万博公園としてはこの早朝調査での確認が、唯一の記録となっている。



写真 15 キジ・万博公園最後の雄姿
2012/4/19 (廣瀬達也氏)

7. 渡り鳥の観察場所について(別図①～⑤)

渡り鳥調査のコース図を別図①、渡り鳥の観察した場所を別図①～⑤に示した。

① 2025 年渡り鳥調査 標準コース図

- | | |
|---------------------|--|
| ①-①2024 年、①-②2025 年 | ヒタキ科キビタキ、オオルリ、コサメビタキ |
| ②-①2024 年、②-②2025 年 | ヒタキ科アカハラ、マミチャジナイ、クロツグミ |
| ③-①2024 年 ③-②2025 年 | ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ、ヨシキリ科オオヨシキリ、ウグイス科ヤブサメ |
| ④-①2024 年、④-②2025 年 | スズメ科ニュウナイスズメ |
| ⑤-①2024 年、⑤-②2025 年 | チドリ科コチドリ、サンショウクイ科サンショウクイ、カササギビタキ科サンコウチョウ |

春の渡り鳥として、多数観察できるキビタキ、アカハラ、センダイムシクイ、ニュウナイスズメなどを中心に渡り鳥の好む場所を記述してみる。

① キビタキは自然文化園内の上津道・中津道間の常緑樹林を中心に利用しているのは昨年と同様である。

別図①-①(2024年)と別図①-②(2025年)を比較すると、ケヤキの丘～もみの池周辺、遠見の丘～水草の池周辺で、キビタキ生息数の変化(減少傾向)が見られる。

緑整備部会による万博の森育成計画で、「明るい落葉樹の森」に誘導する「モデルエリア」の設定や、「ボウケンノモリ」が設置されたことが、渡りのキビタキ生息数に影響しているかな？と思われる。

その代わりかどうか、常緑樹林の水車小屋南の梅林～千里橋通り周辺、日本庭園の木漏れ日の滝周辺でキビタキが増加していた。

② アカハラは別図②-①、②-②を比較すると、日だまりの池周辺、夏の花八景東側周辺で良く観察できた。2024年に多かった日本庭園東側樹林には、今年は少なかった。

③ センダイムシクイ・エゾムシクイについて別図③-①、③-②を見ると、上津道～中津道間の樹林を中心に園内一円に分散しており、まとまって生息している所はなかった。

④ ニュウナイスズメは別図④-①、別図④-②とも日本庭園東側樹林にまとまっており、2025年は4/17～4/21に50羽以上の群(内4/20は100羽以上)を確認した。

2009年、2011年、2014年にニュウナイスズメは1000羽近くカウントしたことがあり、自然文化園内でサクラの花、そして日本庭園では茶室北側～花しょうぶ田東側まで続く外周のクヌギ・アベマキ樹林の花芽に多かった。最近ではサクラ・アベマキともに開花が早くなり、ニュウナイスズメの渡りの最盛期(春の渡り調査時)に花のシーズンが終わっていることが多いためか、大きな群の観察が少なくなっている。

⑤ 別図⑤-②より今年はコチドリが多かったが、大部分はみずすましの池上流側であった。しかし、園内の芝生広場でイベントが開催されていない日には、芝生広場でも観察できた。

⑥ 別図⑤-①より、昨2024年はサンショウクイが多く、桜の流れ周辺などで良く観察できたが、今年は少なかった。

⑦ 現在、千里橋通り交差点～西大路広場まで上津道の両側で、緑整備部会による「万博の森育成計画」のモデルエリアが設定されている(緑整備部会2025年1月20日 資料3-1 による)。

「モデルエリア」は10年前までの「人工ギャップ(=15mX15m)」より、広い面積での(常緑樹林→落葉樹林への樹層転換行われている。今の所効果・影響は分からないが、キビタキがやや減るかもしれないが、声でしか確認できなかった鳥の姿を見ることができるなどのメリットがあり、オオルリ・コサメビタキ・ムシクイ科など、明るい林を好む鳥が増えることを期待したい。

以上

別表1 2025 年 万博公園 早朝調査時に観察した渡り鳥の個体数

(羽)

No	第8版	第7版	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	25年	24年	前年比	25年個体数			
																													4/15~4/21	4/22~4/28	4/29~5/5	
1	69	192	アマツバメ	アマツバメ																		雨天中止										
2	80	185	カッコウ	ホトトギス																												
3	82	187	カッコウ	ツツドリ																												
4	124	219	セイタカシギ	セイタカシギ																												
5	130	197	チドリ	ムナグロ																												
6	131	199	チドリ	ダイゼン																												
7	135	203	チドリ	コチドリ	1		4	1	2				2	1		2	2	2	2	3	2		2	1	2	29	6	+23	8	9	12	
8	144	227	シギ	チュウシャクシギ																												
9	190	239	シギ	クサシギ																												
10	330	141	サギ	ササゴイ																												
11	389	388	キツツキ	アリスイ																												
12	411	412	サンショウクイ	サンショウクイ			2				4	2	1													9	24	▲15	6	3		
13	419	418	カササギヒタキ	サンコウチョウ																						1	▲1					
14	464	465	ウグイス	ヤブサメ			1													1					2	4	▲2	1		1		
15	476	480	ムシクイ	センダイムシクイ	1		2	7	1	1				1	4					1	1		6	3	2	30	21	+9	12	5	13	
16	479	479	ムシクイ	エゾムシクイ																1	1		6	3		11	20	▲9			11	
17	481	477	ムシクイ	メボソムシクイ																												
18	484	492	ヨシキリ	オオヨシキリ												1		1			1		1		1	5		+5		2	3	
19	509	501	ムクドリ	コムクドリ																												
20	523	508	ツグミ	クロツグミ	1		1					1				1										4	1	+3	2	2		
21	525	518	ツグミ	マミチャジナイ																							3	▲3				
22	527	520	ツグミ	アカハラ	6	1	5	12	6	7	3	2	3	2		3	3	2	1	4	1		5		66	48	+18	40	15	11		
23	537	542	ヒタキ	コサメビタキ								4	1		2	5			1		1		3			17	10	+7		12	5	
24	539	558	ヒタキ	オオルリ			2	2	1				1			1										7	11	▲4	5	2		
25	544	530	ヒタキ	コルリ																												
26	545	522	ヒタキ	コマドリ																												
27	550	554	ヒタキ	キビタキ				2	1	1	6	3	5	7	11	6	5	5	7	5	7		3	5	7	86	120	▲34	10	42	34	
28	568	534	ヒタキ	ノビタキ																												
29	574	561	スズメ	ニューナイスズメ	2	2	50	50	50	100	50	10	10	20		5										349	279	+70	304	45		
30	631	568	ホオジロ	ノジコ																												
渡り鳥合計					11	3	67	74	61	109	63	22	23	31	17	24	10	10	11	14	15			26	12	12	615	548	+67	388	137	90
																					渡り鳥 種数計			12	13	▲1	9	10	8			

調査者数	2	3	4	3	3	3	3	3	1	3	3	4	3	3	3	3	3		3	4	4	61	60
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	----	----

ウグイス科				1															1						2	4	▲2
ムシクイ・ヨシキリ科		1		2	7	1	1						1	4	1		1		2	3		13	6	3	46	41	+5
ヒタキ・ツグミ科		7	1	8	16	8	8	9	10	10	9	13	16	8	7	9	9	9				11	5	7	180	193	▲13
ヒタキの仲間 計		8	1	11	23	9	9	9	10	10	10	17	17	8	8	9	11	13				24	11	10	228	238	▲10
ウグイス・ムシクイ・ヒタキ3科 種数計																									9	9	

別表2 2003年～2025年 万博公園 早朝調査時に観察した渡り鳥の個体数 (羽)

科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	前年比	個体数計	年平均
アマツバメ	アマツバメ				3		3				1															7	0.3
カッコウ	ホトトギス											2			1											3	0.1
カッコウ	ツツドリ						1						1			2										4	0.2
セイタカシギ	セイタカシギ																		4							4	0.2
チドリ	ムナグロ				2																					2	0.1
チドリ	ダイゼン									1																1	0.0
チドリ	コチドリ		5	26	6	1	5	9	7	11	1	4	1	3	16	1	1	2	8	13	2	2	6	29	+23	159	7
シギ	チュウシャクシギ										1															1	0.0
シギ	クサシギ			1																						1	0.0
サギ	ササゴイ		1		1						1					1										4	0.2
キツツキ	アリスイ				1			1				1		1		1	1									6	0.3
サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		8		1		2	5	1	2	13	18	4	2	13	24	9	▲15	105	5
カササギヒタキ	サンコウチョウ														1								1		▲1	2	0.1
ウグイス	ヤブサメ	2				1		4													1	2	4	2	▲2	16	0.7
ムシクイ	センダイムシクイ	7	13	25	14	38	25	22	28	24	31	29	21	22	27	24	25	46	48	42	28	43	21	30	+9	633	28
ムシクイ	エゾムシクイ	2	4	11	2	7	5	7	2	1	7	6	12	2	8	8	9	17	14	14	4	18	20	11	▲9	191	8
ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1								10	0.4
ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	5	3	1			5	+5	28	1.2
ムクドリ	コムクドリ						1	1				4					1	1								8	0.3
ツグミ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					11	2	1	2	2	1	4	+3	43	2
ツグミ	マミチャジナイ				282		2	5		1	40				1	1		6	1				3		▲3	342	15
ツグミ	アカハラ	3	5	7	76	29	98	69	57	58	36	11	19	8	10	27	32	50	93	28	30	23	48	66	+18	883	38
ヒタキ	コサメビタキ		1	1	4	6	4	1	10	5	7	4	6	1	6	8	4	8	8	21	10	17	10	17	+7	159	7
ヒタキ	オオルリ	25	9	19	34	24	31	24	17	18	6	17	25	26	5	7	7	15	20	4	3	7	11	7	▲4	361	16
ヒタキ	コルリ		1				2					1						2				1				7	0.3
ヒタキ	コマドリ	2	1							1			2		2		2	7		1	2	5				25	1.1
ヒタキ	キビタキ	11	4	13	20	14	54	25	44	32	51	82	85	85	65	86	107	142	79	53	73	105	120	86	▲34	1,436	62
ヒタキ	ノビタキ				5	2	3		3	1	3								2			2				21	0.9
スズメ	ニューナイスズメ	152	109	383	765	661	361	950	441	991	517	347	926	468	436	324	144	234	601	232	150	177	279	349	+70	9,997	435
ホオジロ	ノジコ					1													3							4	0.2
全個体数		209	156	486	1219	784	603	1121	615	1157	704	511	1100	618	583	493	337	557	906	416	308	417	548	615	+67	14,463	629
除マミチャジナイ・ニューナイスズメ		57	47	103	172	123	240	166	174	165	147	164	174	150	146	168	193	317	304	184	176	240	266	266	±0	4,142	180

種数	11	13	9	17	11	17	14	13	14	14	15	12	10	13	14	14	16	15	12	14	14	13	12	▲1	307	13
----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----

調査日数	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	+1	458	20
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----

別表3—1 2025 年 万博公園 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	25年 観察 日数	24年 観察 日数	前年 比増 減	25年 個体数	24年 個体数	前年比 増減
1	21	24	カモ	オシドリ																		雨									
2	27	26	カモ	オカヨシガモ																		天									
3	28	27	カモ	ヨシガモ																		中					1	▲1		3	▲3
4	29	28	カモ	ヒドリガモ																		止									
5	32	32	カモ	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
6	33	30	カモ	マガモ																							1	▲1		2	▲2
7	43	46	カモ	キンクロハジロ																											
8	64	5	キジ	キジ																											
9	69	192	アマツバメ	アマツバメ																											
10	80	185	カッコウ	ホトトギス																											
11	82	187	カッコウ	ツツドリ																											
12	89	74	ハト	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
13	93	78	ハト	アオバト	1				1		1	1														4	3	+1	4	4	
14	96	166	クイナ	クイナ																											
15	100	174	クイナ	バン																											
16	101	175	クイナ	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					16		+16			
17	117	62	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
18	119	64	カイツブリ	カンムリカイツブリ								1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					10		+10	10		+10
19	124	210	セイタカシギ	セイタカシギ																											
20	128	195	チドリ	ケリ																											
21	130	197	チドリ	ムナグロ																											
22	131	199	チドリ	ダイゼン																											
23	135	203	チドリ	コチドリ	1		4	1	2				2	1		2	2	2	2	3	2		2	1	2	15	3	+12	29	6	+23
24	144	227	シギ	チュウシャクシギ																											
25	183	219	シギ	タシギ			1	1												1						3	3		3	3	
26	190	239	シギ	クサシギ																											
27	213	286	カモメ	ユリカモメ																											
28	315	127	ウ	カワウ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	19	19				
29	328	139	サギ	ゴイサギ																											
30	330	141	サギ	ササゴイ																											
31	333	144	サギ	アオサギ	○		○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	16	18	▲2			
32	335	146	サギ	ダイサギ									○													1	10	▲9			
33	336	147	サギ	チュウサギ																											
34	337	148	サギ	コサギ	○	○		○	○	○	○		○	○	○						○	○				11	19	▲8			
35	343	339	ミサゴ	ミサゴ			○																			1	2	▲1			

別表3—2 2025 年 万博公園 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	25年 観察 日数	24年 観察 日数	前年 比増 減	25年 個体数	24年 個体数	前年比 増減	
36	352	354	タカ	ツミ																												
37	353	355	タカ	ハイタカ																												
38	354	356	タカ	オオタカ																												
39	359	342	タカ	トビ							○															1		+1				
40	363	357	タカ	サシバ																												
41	366	358	タカ	ノスリ																												
42	384	383	カワセミ	カワセミ	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			15	14	+1				
43	389	388	キツツキ	アリスイ																												
44	390	390	キツツキ	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	18	+2				
45	399	397	キツツキ	アオゲラ																												
46	402	401	ハヤブサ	チョウゲンボウ					○							○	○								○	○	5	3	+2			
47	407	407	ハヤブサ	ハヤブサ																												
48	411	412	サンショウクイ	サンショウクイ			2				4	2	1														4	5	▲1	9	24	▲15
49	419	418	カササギヒタキ	サンコウチョウ																							1	▲1		1	▲1	
50	425	420	モズ	モズ			○		○	○	○		○								○					6	2	+4				
51	427	427	カラス	カケス																												
52	435	435	カラス	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
53	436	436	カラス	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
54	438	501	レンジャク	ヒレンジャク																												
55	440	443	シジュウカラ	ヒガラ																												
56	442	442	シジュウカラ	ヤマガラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	17	+3				
57	447	445	シジュウカラ	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
58	450	452	ヒバリ	ヒバリ																												
59	456	463	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
60	461	457	ツバメ	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
61	462	461	ツバメ	イワツバメ																							2	▲2		5	▲5	
62	463	459	ツバメ	コシアカツバメ							○					○							○			4	3	+1				
63	464	464	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
64	466	465	ウグイス	ヤブサメ			1														1					2	3	▲1	2	4	▲2	
65	467	466	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	18	17	+1				
66	476	480	ムシクイ	センダイムシクイ	1		2	7	1	1				1	4					1	1		6	3	2	12	12		30	20	+10	
67	479	479	ムシクイ	エゾムシクイ																1	1		6	3		4	10	▲6	11	21	▲10	
68	481	477	ムシクイ	メボソムシクイ																												
69	484	492	ヨシキリ	オオヨシキリ												1		1			1		1		1	5		+5	5		+5	
70	501	485	メジロ	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
71	507	506	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1				
72	509	508	ムクドリ	コムクドリ																												

別表3—3 2025 年 万博公園 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	25年 観察 日数	24年 観察 日数	前年比 増減	25年 個体数	24年 個体数	前年比 増減
73	514	514	ツグミ	トラツグミ																											
74	523	518	ツグミ	クロツグミ	1		1					1				1										4	1	+3	4	1	+3
75	525	520	ツグミ	マミチャジナイ																							2	▲2		3	▲3
76	526	521	ツグミ	シロハラ	35	33	28	42	47	21	19	17	14	8	7	12	6	1	1	2	2		1			18	16	+2	296	121	+175
77	527	522	ツグミ	アカハラ	6	1	5	12	6	7	3	2	3	2		3	3	2	1	4	1		5			17	14	+3	66	48	+18
78	531	525	ツグミ	ツグミ	16	24	20	31	21	16	20	9	8	15	12	4	4	2	5	7			3		1	18	13	+5	218	823	▲605
79	537	554	ヒタキ	コサメビタキ								4	1		2	5			1		1		3			7	8	▲1	17	10	+7
80	539	561	ヒタキ	オオルリ			2	2	1				1			1										5	6	▲1	7	11	▲4
81	544	534	ヒタキ	コルリ																											
82	545	530	ヒタキ	コマドリ																											
83	550	558	ヒタキ	キビタキ				2	1	1	6	3	5	7	11	6	5	5	7	5	7		3	5	7	17	19	▲2	86	120	▲34
84	556	536	ヒタキ	ルリビタキ																											
85	561	540	ヒタキ	ジョウビタキ		○																				1		+1			
86	564	549	ヒタキ	イソヒヨドリ	○								○		○	○				○						5	3	+2			
87	568	542	ヒタキ	ノビタキ																											
88	574	568	スズメ	ニュウナイスズメ	2	2	50	50	50	##	50	10	10	20		5										11	10	+1	349	279	+70
89	575	569	スズメ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
90	584	573	セキレイ	キセキレイ																											
91	585	574	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
92	586	575	セキレイ	セグロセキレイ																							3	▲3			
93	591	580	セキレイ	ビンズイ		4			1							2							1	1		5	2	+3	9	4	+5
94	597	586	アトリ	アトリ	4	2	4			10	7	3	2	1	1											9	1	+8	34	2	+32
95	598	600	アトリ	シメ																							18	▲18	199	▲199	
96	600	602	アトリ	イカル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	7	+13			
97	602	599	アトリ	ウソ																											
98	608	587	アトリ	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	20	19	+1			
99	613	588	アトリ	マヒワ																											
100	618	610	ホオジロ	ホオジロ																											
101	622	614	ホオジロ	ホオアカ																											
102	625	617	ホオジロ	カシラダカ																											
103	631	623	ホオジロ	ノジコ																											
104	633	624	ホオジロ	アオジ	12	5	9	4	10	3	6	3	6	1	1	2	5		1				2			15	17	▲2	70	69	+1
105	634	625	ホオジロ	クロジ	6		1	2					1													4		+4	10		+10
106	25		チメドリ	ソウシチョウ			○				○		○													3		+3	3		+3
種数計					35	28	38	34	36	31	35	34	40	33	32	38	29	28	31	32	32		33	26	26	651	592	+59	1272	1783	▲511
																									53	53					
調査者数					2	3	4	3	3	3	3	3	1	3	3	4	3	3	3	3	3		3	4	4	61	60	+1			

別表4—1 2003 年～2025 年 万博公園 早朝調査時に観察日数(全種)

No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	観察 年数	観察 日数
1	21	24	カモ	オシドリ			1	2	15								2			1		1	3					7	25
2	27	26	カモ	オカヨシガモ																				1				1	1
3	28	27	カモ	ヨシガモ															16	21						1		3	38
4	29	28	カモ	ヒドリガモ			1				1	1			1			3	5		2							7	14
5	32	32	カモ	カルガモ	18	16	20	21	20	20	20	18	19	20	20	20	6	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	437
6	33	30	カモ	マガモ	9	15	17	20	13	14		13	1	9	3	4	3	13			3	10	13	10	13	1		19	184
7	43	46	カモ	キンクロハジロ													20											1	20
8	64	5	キジ	キジ									1															1	1
9	69	192	アマツバメ	アマツバメ				1		2				1														3	4
10	80	185	カッコウ	ホトトギス											1			1										2	2
11	82	187	カッコウ	ツツドリ						1						1			2									3	4
12	89	74	ハト	キジバト	18	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	19	20	23	455
13	93	78	ハト	アオバト	1	4	1	6		2		2	1	8	1	2	3		1	6	2	8		3	1	3	4	19	59
14	96	166	クイナ	クイナ												1												1	1
15	100	174	クイナ	バン	11		13	8	13		2			4	14	3	12	19	17			2			2		13	120	
16	101	175	クイナ	オオバン																			16	9			16	3	41
17	117	62	カイツブリ	カイツブリ	16	18	20	21	20	20	20	18	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	453
18	119	64	カイツブリ	カンムリカイツブリ																							10	1	
19	124	210	セイタカシギ	セイタカシギ																		4						1	4
20	128	195	チドリ	ケリ				1	3	1	2		2		3	1					2	1	2	4				11	22
21	130	197	チドリ	ムナグロ				1																				1	1
22	131	199	チドリ	ダイゼン								1																1	1
23	135	203	チドリ	コチドリ	3	5	12	4	1	5	9	6	5	1	3	1	1	8	1	1	1	6	12	2	1	3	15	23	106
24	144	227	シギ	チュウシャクシギ					1					1														2	2
25	183	219	シギ	タシギ								1										4	1	9	3	3	3	7	24
26	190	239	シギ	クサシギ			1																					1	1
27	213	286	カモメ	ユリカモメ	1																							1	1
28	315	127	ウ	カワウ	18	13	19	21	20	20	17	13	17	20	19	20	19	19	19	20	21	20	18	19	20	19	19	23	430
29	328	139	サギ	ゴイサギ				1														4						2	5
30	330	141	サギ	ササゴイ		1		1						1					1									4	4
31	333	144	サギ	アオサギ	15	13	18	16	16	14	18	16	16	19	16	18	19	15	14	18	18	19	17	17	20	18	16	23	386
32	335	146	サギ	ダイサギ			2	3	3	6	8	14	18	13	11	8	6	6	13	1	5	1	6	16	7	10	1	21	158
33	336	147	サギ	チュウサギ										1														1	1
34	337	148	サギ	コサギ	6	12	3	15	15	6	19	9	12	12	8	5	3	4	4		3	19	15	3	11	19	11	22	214
35	343	339	ミサゴ	ミサゴ				1										1	1		1		2			2	1	7	9

別表4-2 2003年～2024年 早朝調査時の鳥の観察日数（全種）

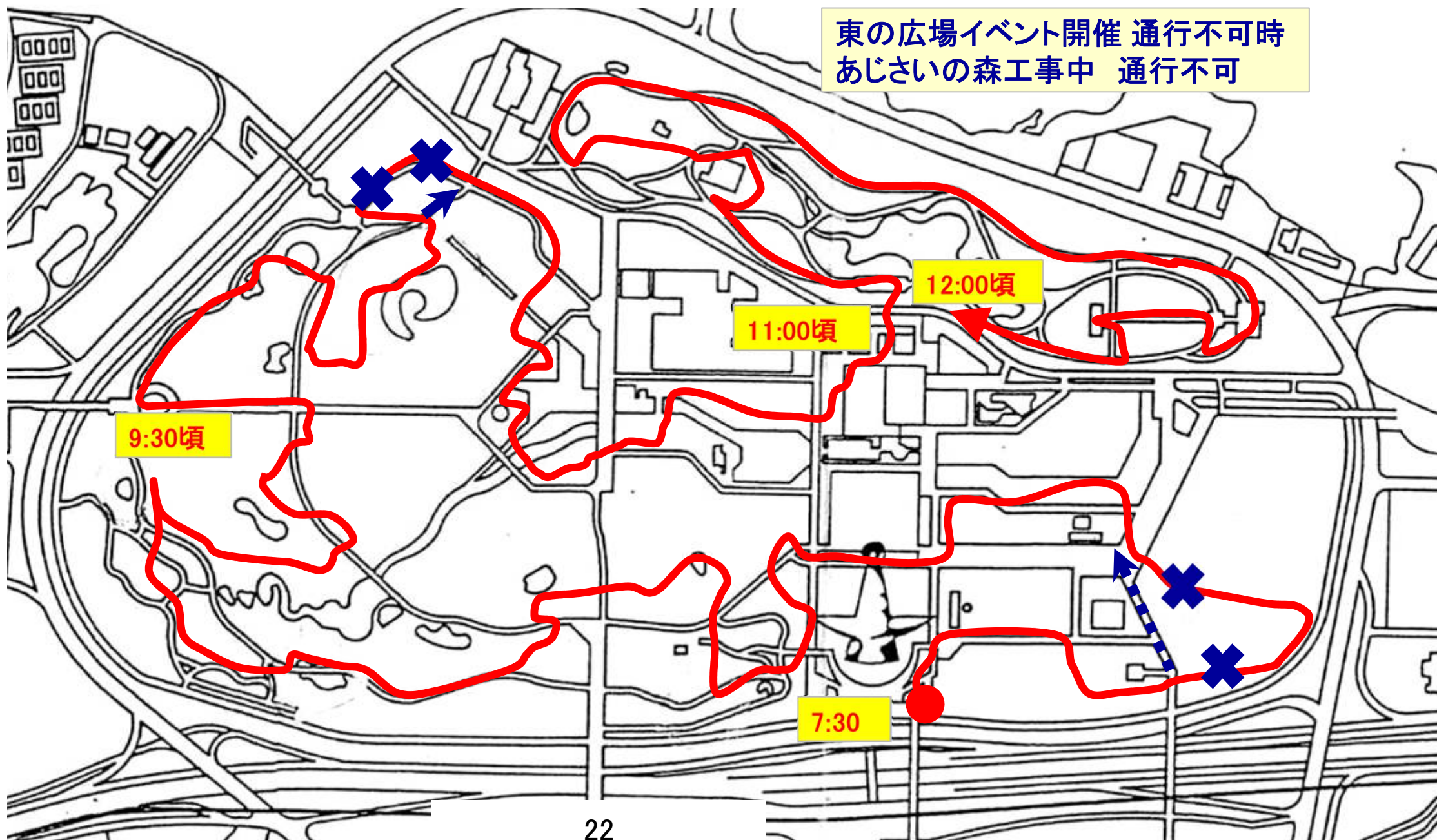
No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	観 察 年 数	観 察 日 数
36	352	354	タカ	ツミ				1				1																2	2
37	353	355	タカ	ハイタカ			2		2				1								2	4	1	1				7	13
38	354	356	タカ	オオタカ	2	1	1	2	7	6	5	8	13	1	5		2	2	1	3	1	1	1	2	7			20	71
39	359	342	タカ	トビ									1	1					1		1	1		1		1	7	7	
40	363	357	タカ	サシバ													1											1	1
41	366	358	タカ	ノスリ																					1			1	1
42	384	383	カワセミ	カワセミ	1	6	6	11	16	7	2	3	3	6	4	5	6	11	18	12	15	15	13	12	14	14	15	23	215
43	389	388	キツツキ	アリスイ				1			1				1		1		1	1								6	6
44	390	390	キツツキ	コゲラ	19	16	18	21	20	20	20	19	20	21	20	19	19	19	20	21	21	21	18	19	20	18	20	23	449
45	399	397	キツツキ	アオゲラ	2				1																			2	3
46	402	401	ハヤブサ	チョウゲンボウ													2	1	6	1	1	2	1		1	3	5	10	23
47	407	407	ハヤブサ	ハヤブサ			2							1														2	3
48	411	412	サンショウク	サンショウクイ						2	1		2		1		2	2	1	1	7	6	3	2	5	5	4	15	44
49	419	418	カササギヒタ	サンコウチョウ													1								1			2	2
50	425	420	モズ	モズ		1	3				1	1	1		7	1	9	14	6			1	8		4	2	6	15	65
51	427	427	カラス	カケス			5		2				2															3	9
52	435	435	カラス	ハシボソガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	458
53	436	436	カラス	ハシブトガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	458
54	438	501	レンジャク	ヒレンジャク				5	2							1						4						4	12
55	440	443	シジュウカラ	ヒガラ															2									1	2
56	442	442	シジュウカラ	ヤマガラ	10	10	13	18	19	17	17	17	16	18	17	18	16	17	18	21	21	21	17	19	20	17	20	23	397
57	447	445	シジュウカラ	シジュウカラ	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	458
58	450	452	ヒバリ	ヒバリ													1				1							2	2
59	456	463	ヒヨドリ	ヒヨドリ	20	16	18	21	18	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	450
60	461	457	ツバメ	ツバメ	15	15	20	21	19	20	19	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	19	20	23	447
61	462	461	ツバメ	イワツバメ																		1		3	3	2		4	9
62	463	459	ツバメ	コシアカツバメ																						3	4	2	7
63	464	464	ウグイス	ウグイス	11	17	7	6	6	9	14	18	20	20	19	19	20	20	10	14	16	21	18	19	20	19	20	23	363
64	466	465	ウグイス	ヤブサメ	2				1	3														1	2	3	2	7	14
65	467	466	エナガ	エナガ	13	12	14	16	18	18	18	17	15	18	16	17	18	19	17	18	18	20	16	14	13	17	18	23	380
66	476	480	ムシクイ	センダイムシクイ	7	8	10	7	9	11	10	11	11	11	11	10	13	11	10	12	13	17	9	13	16	12	12	23	254
67	479	479	ムシクイ	エゾムシクイ	2	2	7	1	4	5	5	1	1	4	4	4	2	5	6	4	5	6	5	3	5	10	4	23	95
68	481	477	ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1							7	10
69	484	492	ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	4	3	1			5	14	27
70	501	485	メジロ	メジロ	20	17	20	21	20	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	455
71	507	506	ムクドリ	ムクドリ	20	18	20	21	18	20	20	18	19	21	20	20	20	20	20	21	21	20	18	19	17	19	20	23	450
72	509	508	ムクドリ	コムクドリ						1	1				1					1	1							5	5

別表4-3 2003年～2024年 早朝調査時の鳥の観察日数（全種）

No	目録 第8版	目録 第7版	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	観 察 年 数	観 察 日 数	
73	514	514	ツグミ	トラツグミ	1						1		1						1			2	1	2				7	9	
74	523	518	ツグミ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					9	2	1	2	2	1	4	16	41	
75	525	520	ツグミ	マミチャジナイ				21		2	4		1	11				1	1		5	1				2		10	49	
76	526	521	ツグミ	シロハラ	14	10	13	21	20	18	14	17	18	17	18	14	13	16	19	16	19	21	14	14	13	16	18	23	373	
77	527	522	ツグミ	アカハラ	3	4	6	17	11	18	17	14	18	11	8	10	8	7	16	15	19	19	12	13	8	14	17	23	285	
78	531	525	ツグミ	ツグミ	20	18	17	21	20	19	20	19	20	14	20	19	18	19	20	20	19	21	18	13	17	13	18	23	423	
79	537	554	ヒタキ	コサメビタキ		1	1	3	6	4	1	7	3	5	3	4	1	5	6	3	5	8	7	7	7	8	7	22	102	
80	539	561	ヒタキ	オオルリ	8	6	9	18	10	12	10	10	9	4	11	11	15	4	6	6	13	9	3	2	5	6	5	23	192	
81	544	534	ヒタキ	コルリ		1				2					1						2				1			5	7	
82	545	530	ヒタキ	コマドリ	2	1						1				2		2		2	6		1	1	4			10	22	
83	550	558	ヒタキ	キビタキ	9	4	9	13	9	17	11	14	15	17	17	18	20	16	19	20	20	17	13	15	19	19	17	23	348	
84	556	536	ヒタキ	ルリビタキ	1		3	5	2	4		4	4		3	2	4		3			1	2					13	38	
85	561	540	ヒタキ	ジョウビタキ																	1					1	2	2		
86	564	549	ヒタキ	イソヒヨドリ													1					1		1	3	5	5	11		
87	568	542	ヒタキ	ノビタキ				4	2	1		3	1	2								1			2			8	16	
88	574	568	スズメ	ニューナイスズメ	5	8	12	14	13	12	15	14	16	13	15	12	10	7	11	7	10	13	7	9	7	10	11	23	251	
89	575	569	スズメ	スズメ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	457	
90	584	573	セキレイ	キセキレイ						8	1				1	1	1			3	1	1	1		1			10	19	
91	585	574	セキレイ	ハクセキレイ	10	7	10	12	14	14	16	11	20	21	17	10	12	20	14	18	19	19	17	19	20	19	20	23	359	
92	586	575	セキレイ	セグロセキレイ	12	16	18	19	19	19	19	16	14	19	13	2	12	16	10	15	18	19	12	16	4	3		22	311	
93	591	580	セキレイ	ビンズイ	7	3	5	4	2	8	5	5	5	3	4	6	2	2	8	1	5	5	6	10	3	2	5	23	106	
94	597	586	アトリ	アトリ	3	12	4	1	14	6	12	9	3		7	8	6	7	9	10	6	17	8	10	4	1	9	22	166	
95	598	600	アトリ	シメ	10	11	6	17	9	17	20	18	20		13	15	2	14	16	7	20	21	8	13	7	18		21	282	
96	600	602	アトリ	イカル	13	18	17	14	20	16	18	14	17	14	16	20	13	19	20	20	17	21	17	15	18	7	20	23	384	
97	602	599	アトリ	ウソ											1													1	1	
98	608	587	アトリ	カワラヒワ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	19	20	21	21	21	18	19	20	19	20	23	456	
99	613	588	アトリ	マヒワ	7				4		14		18		11		1	3					8					8	66	
100	618	610	ホオジロ	ホオジロ		2															1		1					3	4	
101	622	614	ホオジロ	ホオアカ											1													1	1	
102	625	617	ホオジロ	カシラダカ											1				1									2	2	
103	631	623	ホオジロ	ノジコ					1													2						2	3	
104	633	624	ホオジロ	アオジ	17	14	15	13	18	16	14	15	13	16	16	15	14	14	14	11	15	19	9	12	10	17	15	23	332	
105	634	625	ホオジロ	クロジ	2	2											3			2							4	5	13	
106	25		チメドリ	ソウシチョウ																							3	1	3	
種数計					51	48	50	58	53	54	51	51	55	50	58	51	54	52	57	50	58	63	58	54	55	53	53	106	106	
観察回数					507	485	559	663	636	629	620	592	639	612	625	569	581	623	647	607	665	735	601	604	597	592	651		14039	
					03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年		合計	
観察種数					51	48	50	58	53	54	51	51	55	50	58	51	54	52	57	50	58	63	58	54	55	53	53		106	
調査日数					20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	20		458
1日あたり種数					25.4	26.9	28.0	31.6	31.8	31.5	31.0	31.2	32.0	29.1	31.3	28.5	29.1	31.2	32.4	28.9	31.7	35.0	33.4	31.8	29.9	31.2	32.6		30.7	

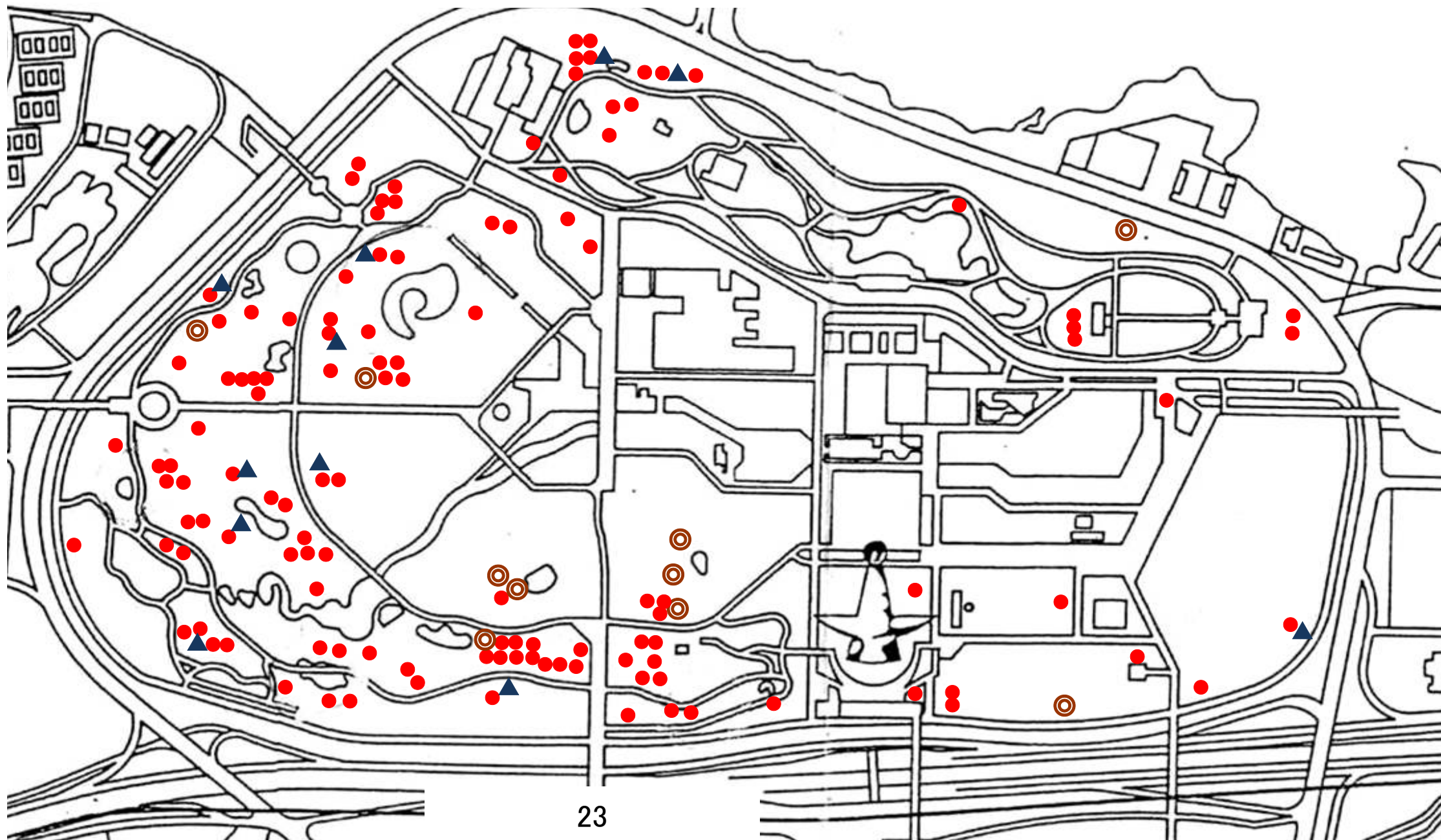
別図①

2025年春の渡り鳥調査 標準コース図 (20240421)



別図①-① 2024年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

●キビタキ120羽 ▲オオルリ 11羽 ◎コサメビタキ 10羽



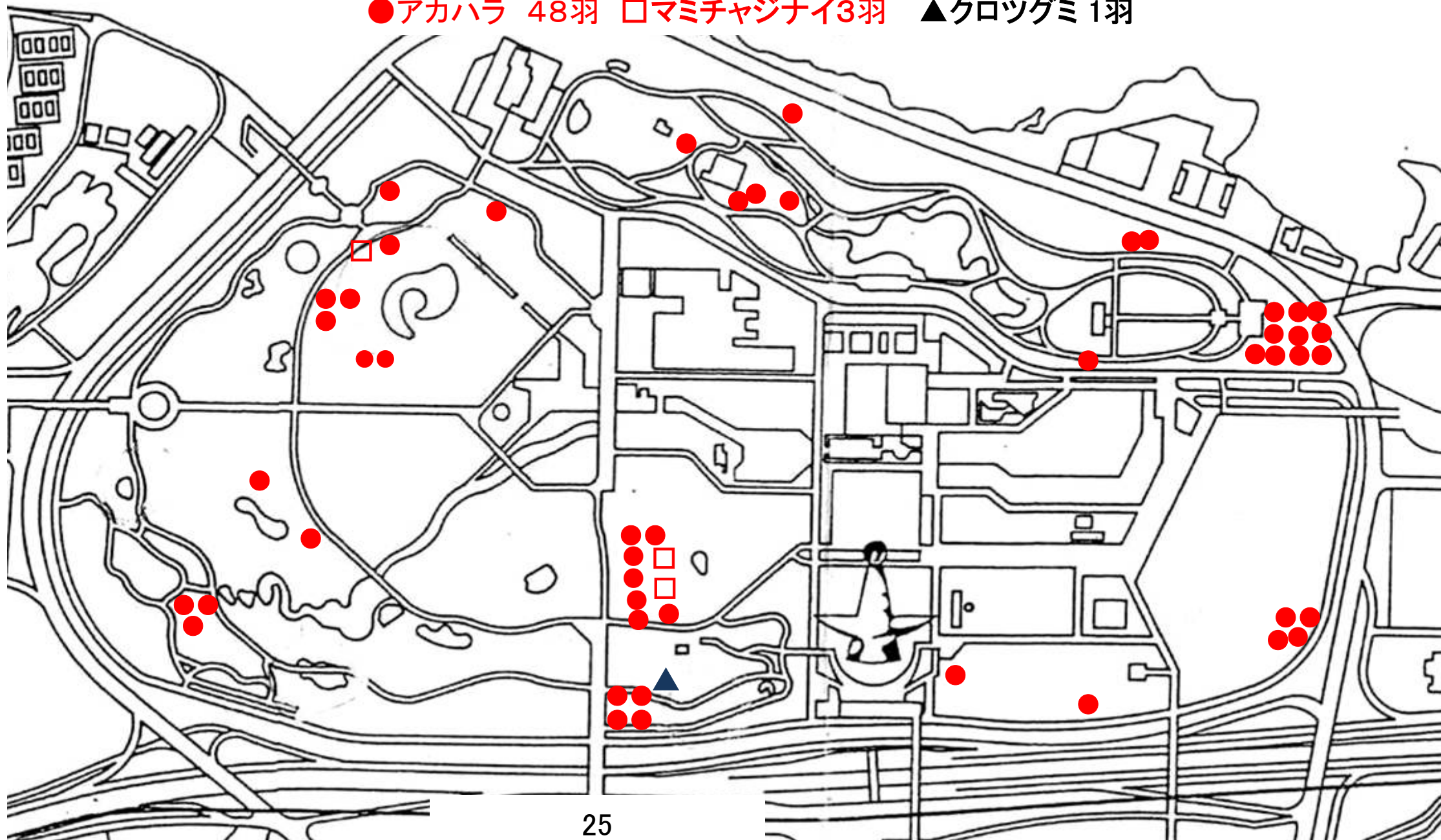
別図①-② 2025年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

●キビタキ 86羽 ▲オオルリ 7羽 ◎コサメビタキ 17羽



別図②-① 2024年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

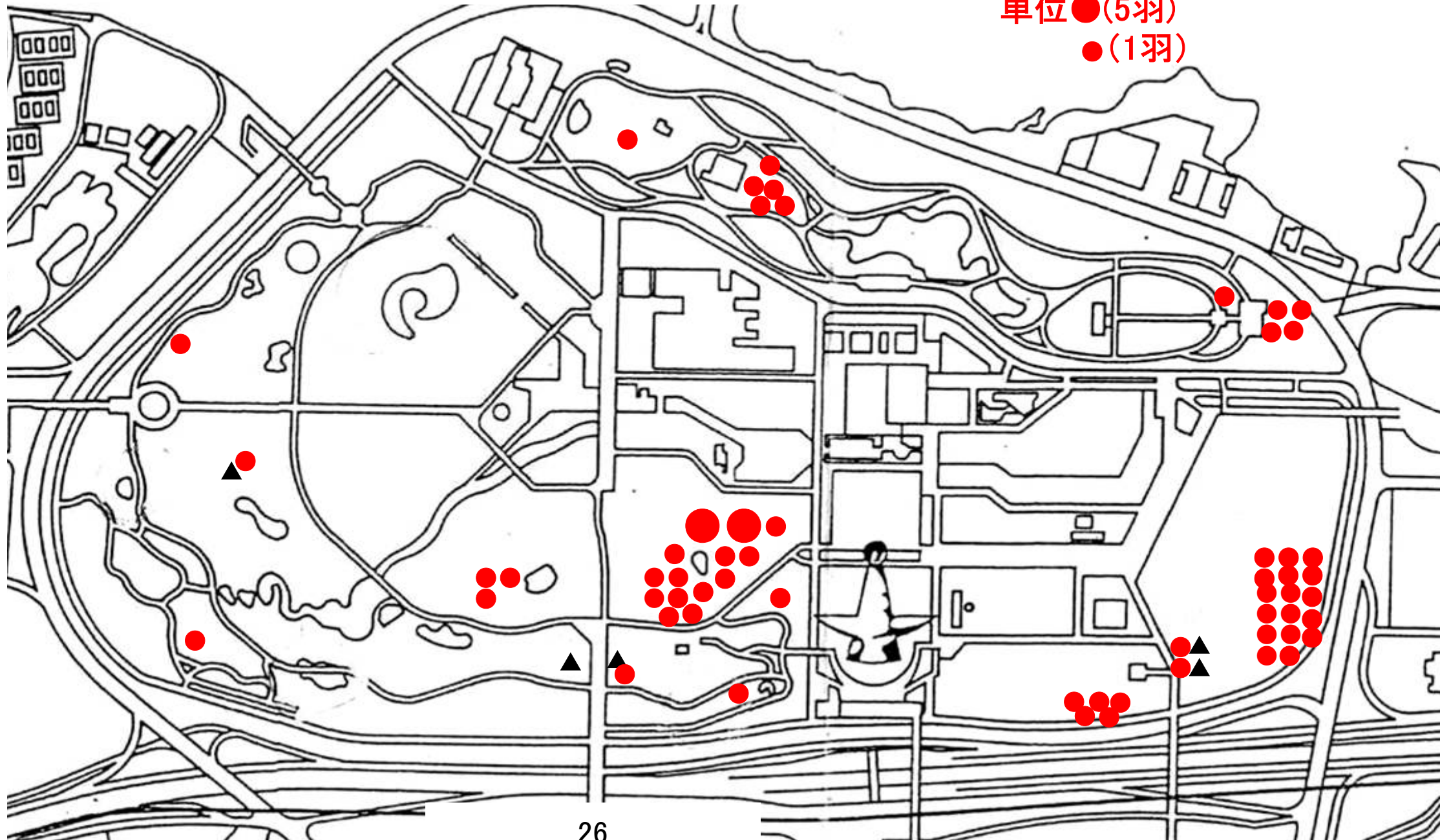
●アカハラ 48羽 □マミチャジナイ3羽 ▲クロツグミ 1羽



別図②-② 2025年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

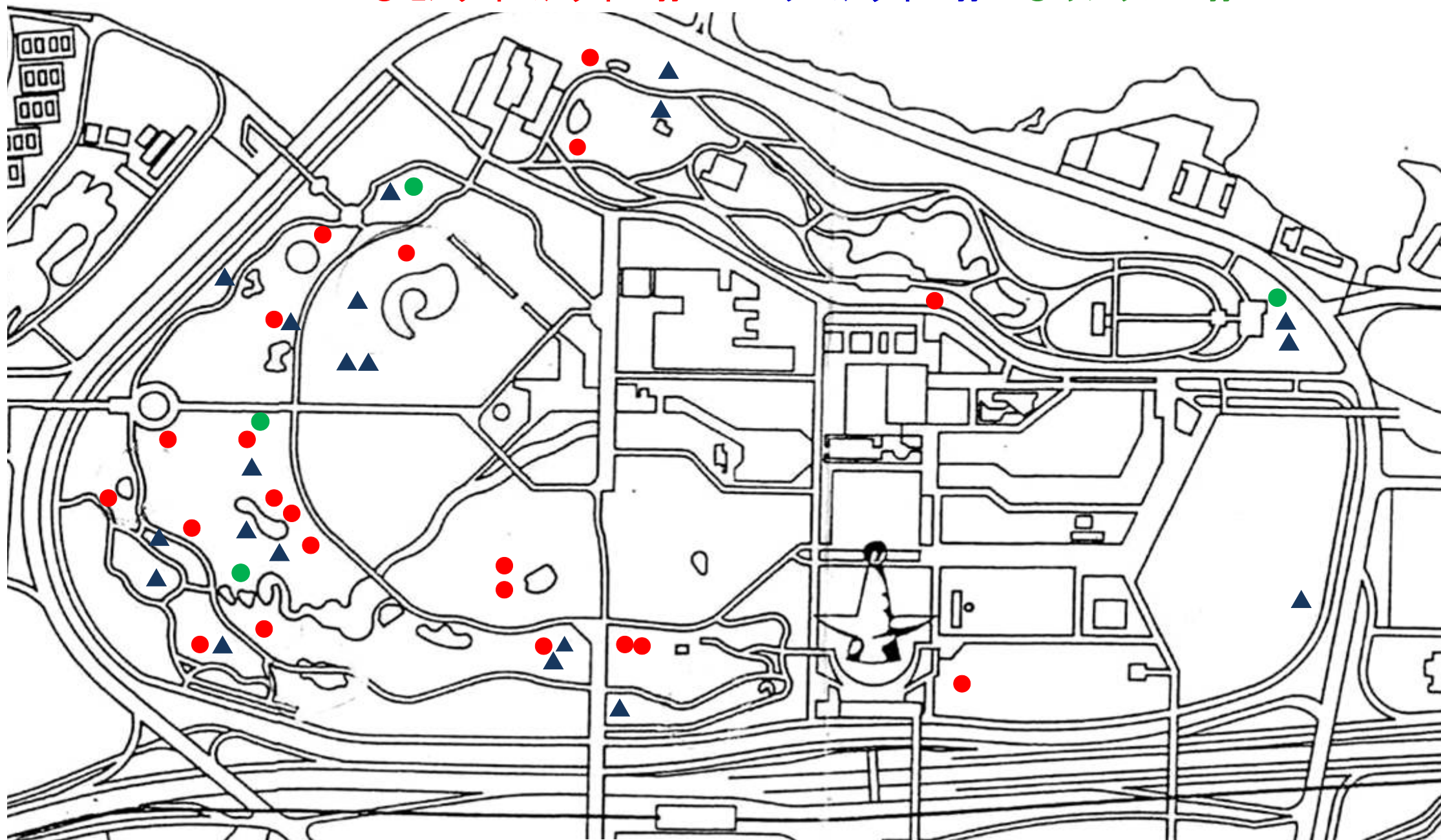
●アカハラ 66羽 ▲クロツグミ 5羽

単位●(5羽)
●(1羽)



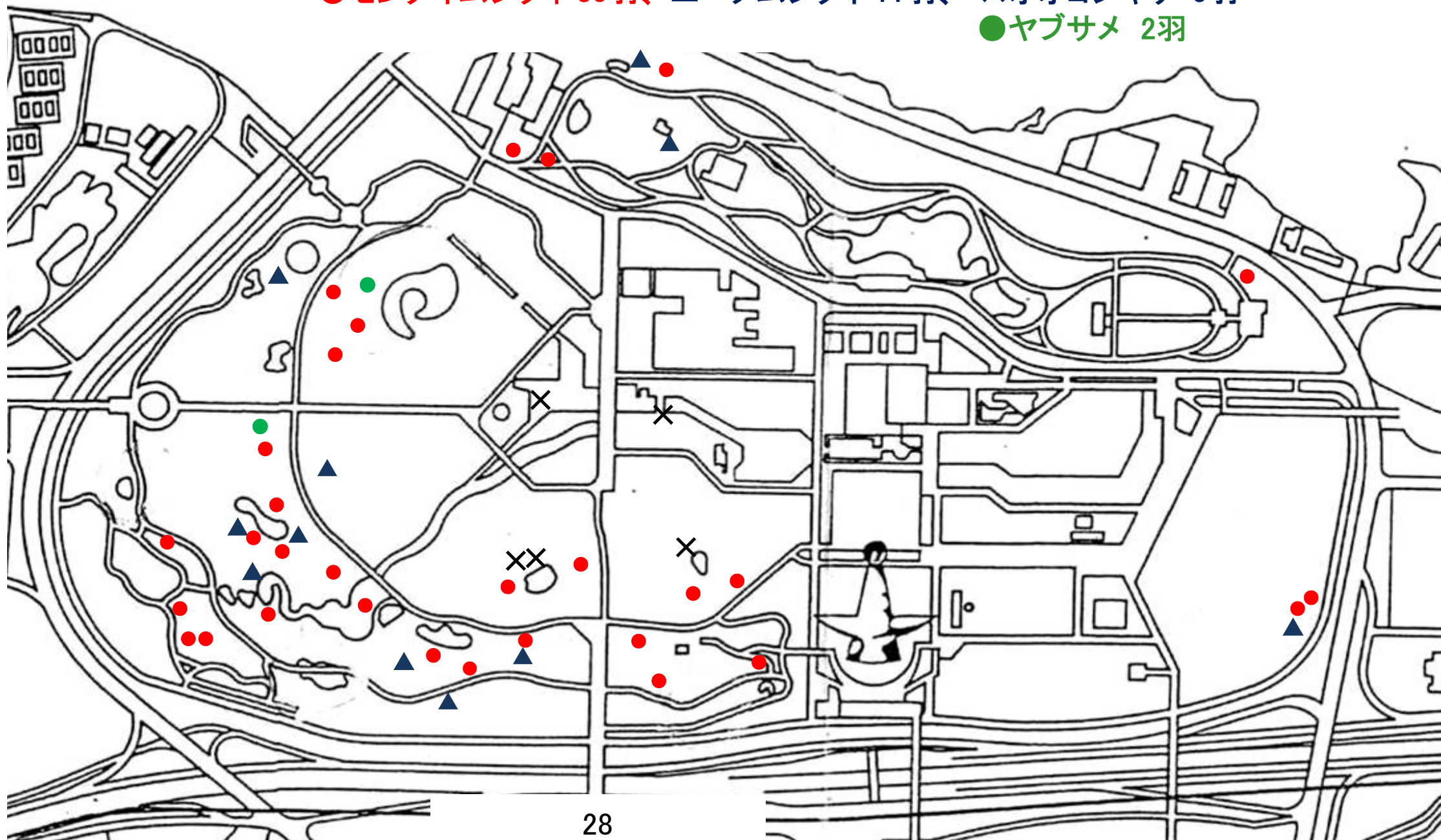
別図③-① 2024年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ21羽 ▲エゾムシクイ20羽 ●ヤブサメ 2羽



別図③-② 2025年春の渡り鳥 ムシクイ科・ヨシキリ科

●センダイムシクイ 30羽、▲エゾムシクイ 11羽、×オオヨシキリ 5羽
●ヤブサメ 2羽



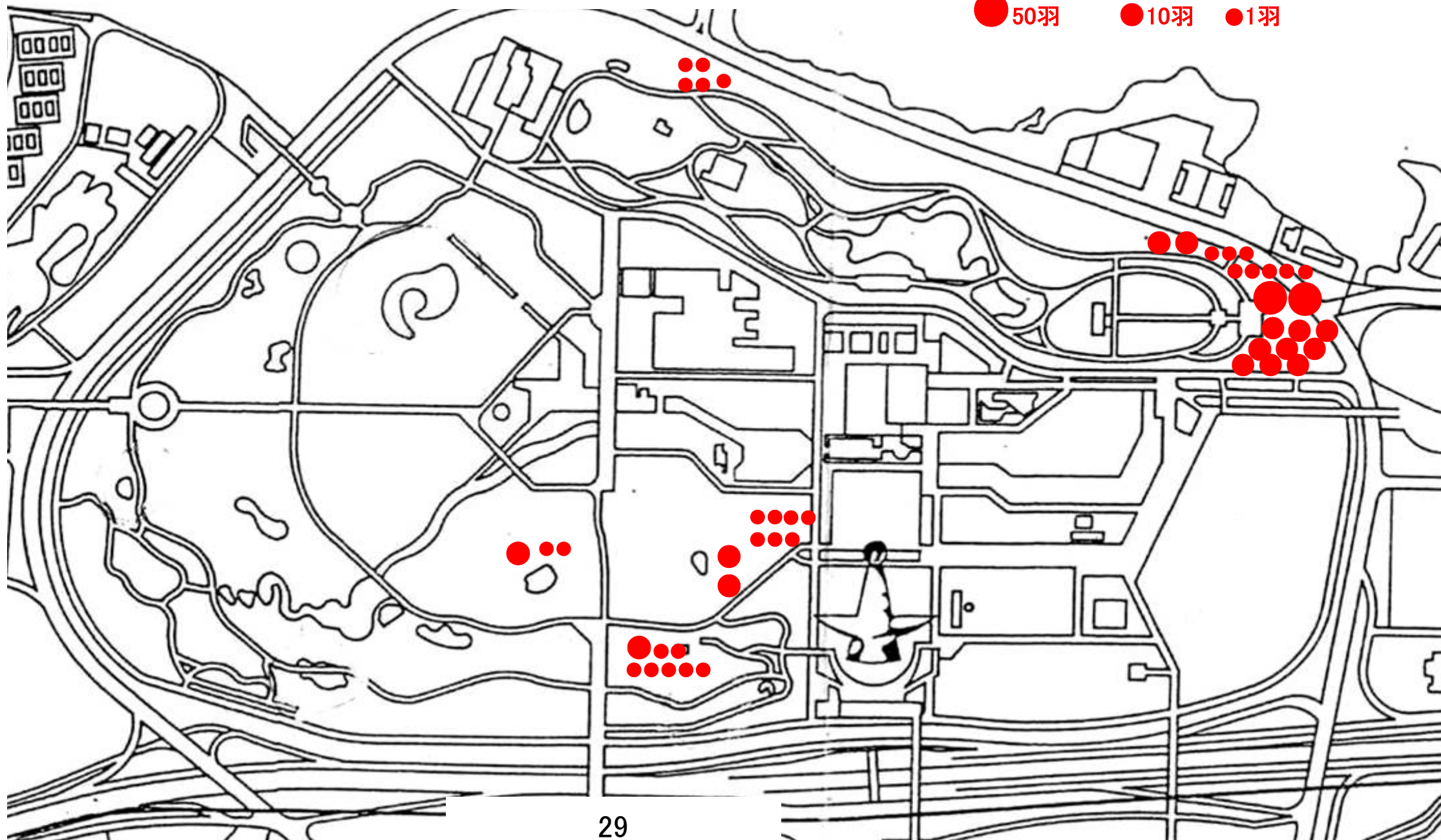
別図④ー① 2024年春の渡り鳥 スズメ科

●ニューナイスズメ 279羽

● 50羽

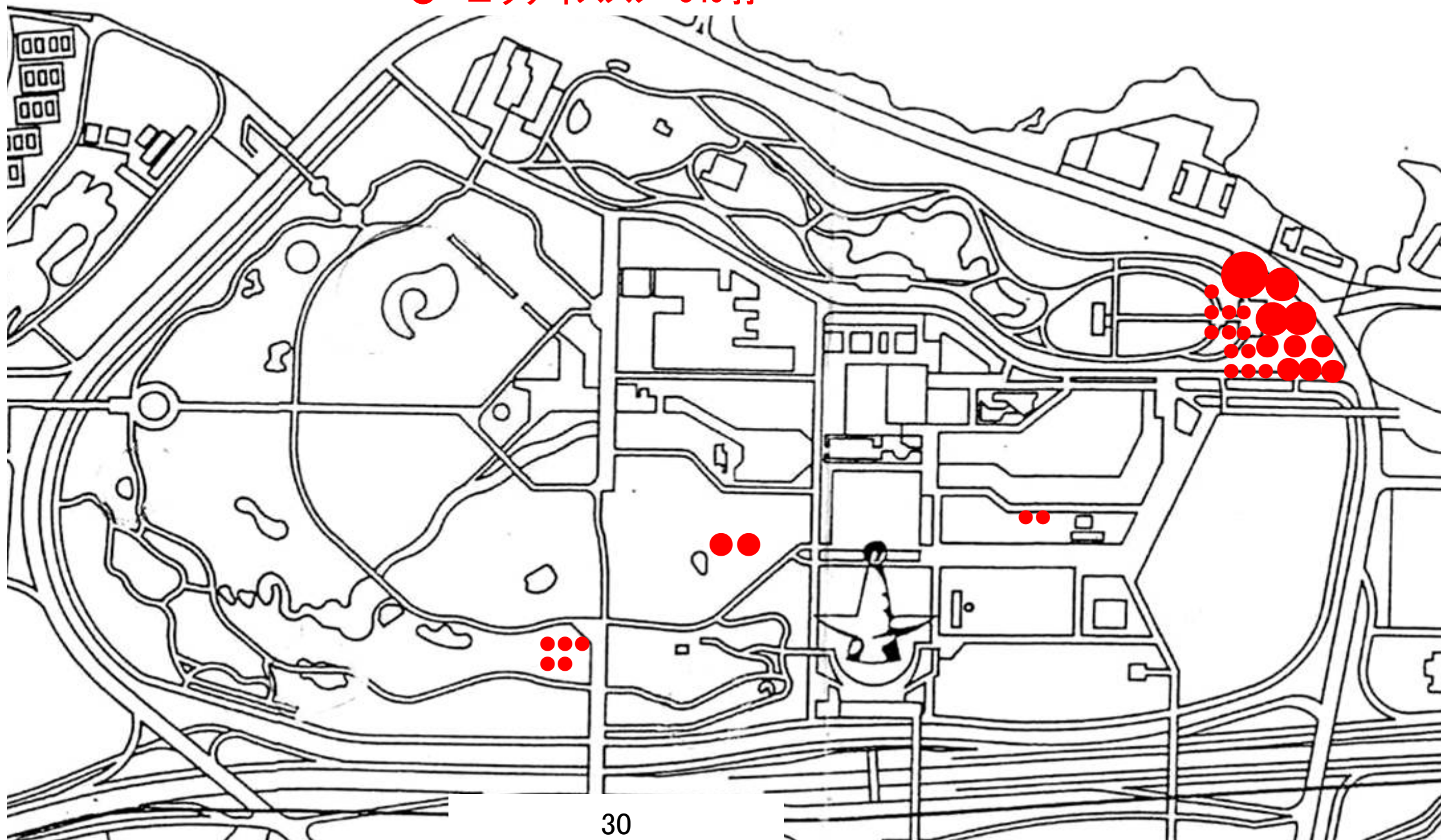
● 10羽

● 1羽



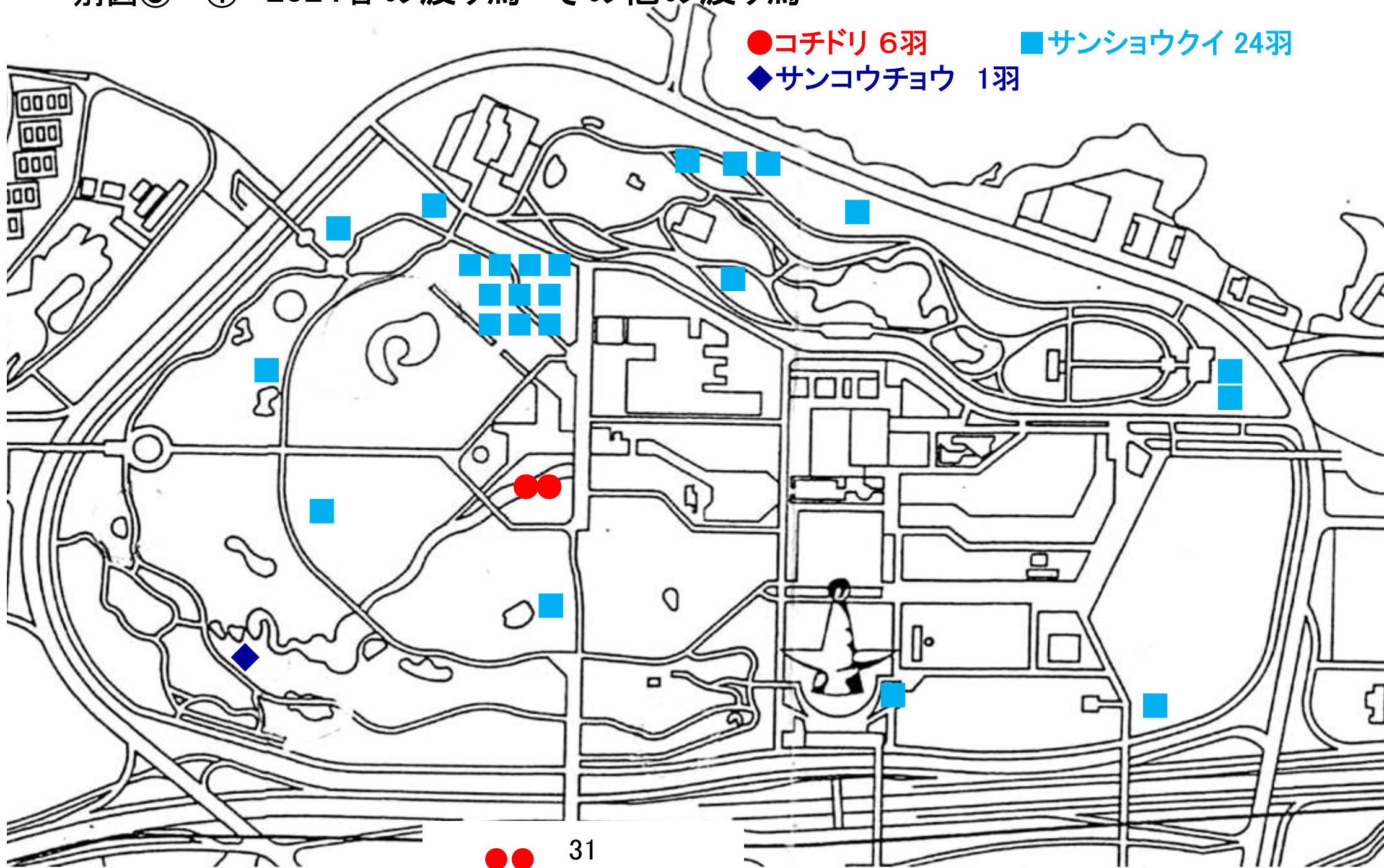
●ニューナイスズメ 349羽

(●100羽 ●50羽 ●10羽 ●1羽)



別図⑤ー① 2024春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 6羽 ■サンショウクイ 24羽
◆サンコウチョウ 1羽



別図⑤ー② 2025年春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 29羽

■サンショウクイ 9羽

